

丹波篠山

No. 97
2021.10

市議会だより

■ 30日対策補正予算を可決

P.3~ 4

■ 基金条例・環境保全条例の一部改正を可決

P.5

■ 一般質問11人が登壇

P.8~13

PHOTO : 丹波栗 ~魅力あふれる丹波篠山の秋~



補正予算審査 9月会議（長月会議） 総額 4億6,655万円

一般会計含む6会計8つの補正予算が上程され、いずれも可決しました。
審査については、予算決算委員会に付託し、総務文教、民生福祉、産業建設分科会によって審査を行いました。

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます。



一般会計

■中高連携事業 1,000万円

問 市内高校定員割れの要因について、現状を分析して共通認識を図ったうえで事業化したのか。

答 根本的に高校からの活動等情報発信不足が原因ではないか。現状把握は今後も継続し、中高連絡会で共有目的を持って、令和4年度も取り組む。

問 「高等学校支援事業交付金を市内3高校に30万円ずつ交付するので、要因解決に結びつく組み立てが必要なのではないか。

答 原因分析は今後も継続する。選ばれる学校になるためにどうしたらいいのかという議論をしており、課題に対して的確な対応を考えたい。

■空き家活用事業 1,193万円

問 空き家バンク活用補助金事業は、今後の見込みを合わせ35件の予定としている。空き家バンクの活用は、地域的に偏りがあるのか、あるいは市内全般に増えているのか。

答 ある程度分散されている。最近では、農地つき空き家が非常に人気になっており、市の周辺の地域で空き家がないかといった問合せも多い。

■ブランド戦略事業 350万円

問 特産品の販売促進につながるような統一したロゴマークは検討するのか。

答 ロゴマークを作成するかどうか、地元の農業者と協議している。黒豆以外にも丹波篠山市には、米や山の芋、丹波焼などの特産品があり、デザイン等については、今後、生産者の意向を確認しながら進めていきたい。

■予防費 979万円

問 ワクチン接種のコールセンターはいつまで開設する予定か。

答 この事業は令和4年2月までの計画なので、令和4年3月までは設置する予定である。

■母子保健総務費 482万円

問 特定不妊治療助成金について、今年度はどれぐらい出産または、その予定の方がいるのか。

答 令和2年度の特定不妊治療対象者は29人。今年度の4月から7月までで23人となっている。年間で50〜60人となる見込みである。

■放置空き家対策事業 1,050万円

問 市内の空き家の件数は。また、道路沿いで危険な空き家は何件か。

答 自治会や近隣住民からの情報提供により管理不全な状態にある空き家を33件把握している。その内、道路沿いで直ちに危険となる恐れがあると考えているのは、後川新田の代執行予定物件と隣の物件、及び篠山口駅近くの3件である。

■観光客おもてなし事業 290万円
問 8人乗りのグリーンスローモビリティ事業の実証実験を10月1日から約1ヶ月間行うが、将来的展望は。

答 実証実験として、望まれる利用形態の調査を行う。利用等が多ければ、来年度に具体的な検討を進めていく。

■このバスの感染症対策は。

答 運行中は、外気導入型のエアコンでの換気、マスク着用、車内での会話は控えてもらうなど、注意喚起を行う。



電動低速バス

新型コロナウイルス医療体制強化支援事業

【1,291万円】

重傷化リスクの検査の全自動免疫測定装置を、ささやま医療センターへ導入する。

これにより、抗原検査の精度や処理能力が向上し、発熱外来患者の集中時や、施設クラスターでの検査対応が大きく向上する。

また訪問看護ステーション等へのクラウド型情報システムを導入。

これにより、ささやま医療センターとの間で情報共有を行い、陽性者の自宅療養を支える体制を強化する。



全自動免疫測定装置

9月30日会議

コロナ対策補正予算等
総額9,748万円

■農業経営安定対策給付金事業

【5,650万円】

米価の下落による農家の経営を支援するもの。本年に10アール以上作付けした農家が対象となる。

自家消費米相当の10アールを除き、残りの作付面積10アール当り3千円の給付で、上限は50万円。

■中小企業等事業者一時支援事業

【2,507万円】

新型コロナウイルスにより、売り上げが減少した中小企業者・個人事業主の事業継続のため、所定の要件を満たした事業者、10万円を支援。

■貸切バス事業者支援金(648万円)

貸切バス事業者の事業継続のため、バスの大きさと保有車両台数に応じて支援。

大型バス…15万円

中型バス…10万5千円

小型バス…7万5千円

■タクシー事業者支援金事業

【143万円】

新型コロナウイルスにより乗客が減少したタクシー会社に、事業継続のため、1台につき7万5千円を支援。

スマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます

QRコード



■酒類販売事業者等支援金

【392万円】

新型コロナウイルスにより売り上げが減少している酒類販売事業者の事業継続のため10万円、地酒製造事業者に30万円を支援。

■感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

【250万円】

各学校における感染症対策や、児童生徒の学習を保証する。消毒液等の消耗品やモバイルルーターなどの備品を対象とする。内訳は、篠山養護学校に40万円、味間小学校に20万円、篠山中学校と丹南中学校に15万円、その他の16校に10万円。

■篠山養護学校への支援金が突出している理由は何か。

答 特別支援学校は様々な対策が必要になることから、国の基準に沿って、他の学校よりも事業費が多くなっている。

■抗原簡易キット配布事業

【158万円】

介護・障がい福祉サービス事業所に、新型コロナウイルスの抗原簡易キットを配布する。

国民健康保険特別会計

■一般被保険者保険税還付金

【100万円】

問 一般被保険者保険税還付金が7年を遡って還付した経緯は。

答 国民健康保険の喪失手続き案内通知を送っていたが、手続に来られなかった。国保税は全額納められており、7年前に遡って喪失手続をされ、過去5年分について還付した。

介護保険特別会計

■基金積立金

【335万円】

問 基金積立金は、給付費が減少したため、多く積立てられているのか。

答 介護給付費がコロナ禍の為、居宅介護費、特にデイサービス費が想定より下がっている。

しかし施設給付費が上昇傾向なので、第8期の1年目、今年度は基金を積立てられる状況。2年目で大体収支が同じぐらいになり、3年目で大きく取崩し、繰入れをする見込みである。

水道事業会計

■水道事業会計 〔△8338万円〕

問 一般会計繰入金の上水高料金対策繰入金減額の原因は。

答 国からの繰入金は、繰り入れ基準値の提示がある。

令和3年度の国からの繰り入れ基準値148円の見込みが150円になった。

差額の2円と前々年度の有収水量の約413万m³をかけた金額が、今回の減額となった。

■令和2年度丹波篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

問 剰余金の処分の結果、水道事業会計を維持していく上で十分な金額まで到達したのか。

答 将来の更新費用が多額であるため今回の積立金で十分とはいえない。今後も積み立てを行っていきたい。

下水道事業会計

■下水道事業会計 〔825万円〕

問 建設改良費で西紀中央浄化センターポンプ修繕の理由は。

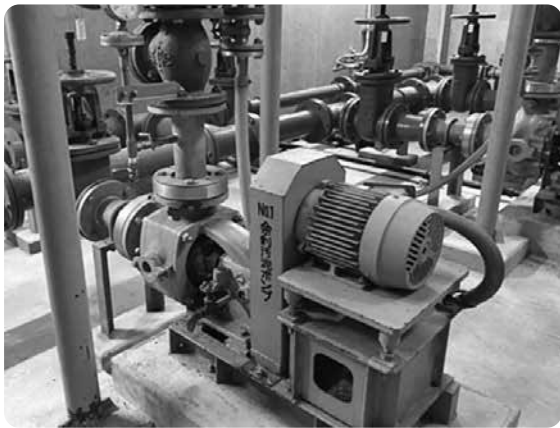
答 西紀中地区の処理場の廃止に伴っ

て、西紀中央地区へ令和4年3月に統合する計画で進めている。流入量が増加するため、余剰汚泥ポンプの更新をする。

■令和2年度丹波篠山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

問 資本金の残額が50億円という説明であった。下水道事業の今後の改修費用に見通しが立ったのか。

答 資本金は、すべてが現金ではなく、固定資産も含んでいる。施設の維持は、下水道使用料だけではなく、繰入金で賄っている。繰入金の補填なく安定した事業運営は難しい。



余剰汚泥ポンプ

8月19日会議

コロナ対策補正予算等
総額4,582万円

一般会計

新型コロナワクチン接種費用の加算
〔3,972万円〕

通常接種費用の1人当り2,070円に時間外等の加算相当分を上乗せし、医療機関を支援する。

時間外加算730円、休日加算2,130円で、これらの費用の全額が国費。

市単独治山事業 〔100万円〕

7月上旬の豪雨で、今田新田猫谷の自動車整備工場の裏山が崩壊した。崩落土砂の撤去と法面整形で復旧する。この事業費は200万円で、1/2の補助が専決処分された。

道路橋梁と河川災害復旧費 〔510万円〕

7月上旬の豪雨による、道路橋梁と河川の災害復旧費の510万円が、専決処分された。

道路は、打坂・大山下・今田町上立杭の市道、北野・三熊・幡路の被災個

スマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます

QRコード



所の復旧工事を実施する。

河川は、今田町本荘の神山川と矢代新の矢代新川の被災箇所を護岸工事を実施する。

8月19日会議において可決した条例

個人情報保護条例と個人番号の利用と特定個人情報提供に関する条例の一部を改正

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(略：番号法)の一部改正により、市の個人情報保護条例と個人番号の利用と特定個人情報の提供に関する条例について、所要の規定整理が実施された。

番号法の改正により、特定個人情報の提供を管理する情報提供ネットワークシステムの所管が、デジタル庁へ移管したことに伴い、引用条文の番号が改められた。

10月11日会議

コロナ対策補正予算等
総額3,261万円

一般会計

山内町大規模火災の除去支援事業

〔1,457万円〕

本年7月24日の山内町での大規模建物火災により被災した民間住宅の解体撤去事業。これは、国の空き家再生等推進事業(678万円)と、県の老朽危険空き家除去支援事業(193万円)が活用される。

市と県と国で事業の8割を負担し、被災者は2割を負担する。

問 被災者負担金の340万円は、被災者に分配された義援金が使われると考えて良いのか。

答 義援金は被災者の当面の生活に活用して貰うためのもので、何に使うかは個人の考えによる。

問 今回の山内町の火災に公費を使うに当たり、市はどのような位置づけで対応したのか。

答 今回の火災は、豊岡市及び明石市の大規模火災に準じて県の補助要項が適用された。市としては、これを特例として対応した。

スマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます

QRコード



問 この火災現場の跡地活用について、国の補助基準との整合を市としてどのように図るのか。

答 未だ跡地活用については、具体的に検討していない。がれき処理が終われば、被災者と協議する場を設ける。以前のような住宅として土地利用が出来るかを心配している。

国民健康保険特別会計

直営診療所PCR検査事業

〔1,804万円〕

市の4箇所(診療所(東雲、後川、草山、今田)において、発熱患者にPCR検査と抗原検査を行う。これらの診療所では、県の発熱等診療・検査医療機関の指定を受けたので、検査委託料や医療用消耗品と備品を購入する。なお、PCR検査と抗原検査は、公費負担により無料。

傍聴者の声

9月議会 延べ49人が傍聴

9月議会(長月会議)を、延べ49人の方に傍聴いただきました。頂いた意見は次のとおりです。

■女子トイレ(本庁舎)が洋式でないのは、だめだと思いました。

■9月18日から施行される医療的ケア児法について、見通しが立っていないことに驚きました。協議会に当事者や保護者が入らないのはおかしいと思います。

医療的ケア児の割合は、人口に対して少ないですが、重度心身障がい児の幸せな暮らしのあるまちは、だれにとっても安心できるまちだと社会的評価もされています。

■プライバシーの配慮についてしっかりと検討して頂きたいと思いました。

最近では、個室スペースで相談をされている自治体も増えてきており、相談者が圧迫感を感じない配慮は障がいの有無にかかわらず行政サービスとして考えてほしいと思います。

■幼児教育にかかる防災時の対応については、防災士など専門職の委員にも入ってもらえると良いと思いました。

(一部抜粋)

年齢別傍聴者一覧

開催日	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	小計
令和3年9月7日				3		1	4	8
令和3年9月15日			1	2	2	5	8	18
令和3年9月16日					2	2	2	6
令和3年9月24日								0
令和3年9月30日		1	2	4		4	6	17
計		1	3	9	4	12	20	49

9月議会(長月会議)において 可決した条例



丹波篠山市基金条例の一部 を改正する条例

谷田美子生(たにだ みねお)氏から「丹波篠山の生きものや自然環境を守るため」の活用を希望された寄付金がある。「谷田美子生 生物多様性基金」を設置し、丹波篠山の生き物や自然環境の保全・再生を推進するための財源とする。

【主な質疑】

問 基金の設置の方向性はどうか。

また、寄附いただいた谷田氏の思いを大切に、子どもが丹波篠山の自然を感じるような思いが持てるようなソフト事業が展開すべきではないか。

教育委員会や学校の連携も視野に入れたらどうか。小さいことでも良いので、「これは谷田氏の寄付で自然環境が保全・再生出来たという結果が残るものにしてもらえないか。」

答 具体的な施策はこれから検討する。生物多様性のハード事業ではなく、ソフト事業で使いたいと考えている。年間約200万円を予算化し、10年

間ほどでデータが積み上がるような、また事業が広がっていくようなものを予定している。教育委員会とも協議し、令和4年度当初予算で提案していきたい。



丹波篠山市環境保全条例の 一部を改正する条例

改善命令の実効性をさらに確保するため、指定家畜飼養施設について、公害を発生させる事業又は施設の設置の中止、若しくは施設の撤去を命ずることができるところを追加する。

【主な質疑】

問1 畜産農家への説明会のとくに畜産農家からは、どのような意見が出されたのか。

答1 設置届を提出している21軒の畜産農家に案内した内8人の出席があった。「条例改正をそこまでする必要があるのかと正直思ったが、今後、畜産振興のために仕方ないと感じている。」「パブリックコメントの中で理不尽な意見や、道徳的に考えておかしいという市民の声があればそれも全て受けるのか。」「行政代執行した場合の費用はどうなるのか。」等の意見が出された。

問2 本市には、危険空き家等について、人命の尊さを護るため行政代執行で処分することが可能な条例がある。今回の環境保全条例のように生活環境の確保、生活環境の破壊の防止が目的でも、行政代執行を条例で定めることが可能なのか。

答2 一般論として、地方自治法で条例でも行政代執行を定めることができるとしているので可能だ。

生活環境を著しく侵害しているかどうかについては、違反の内容、件数、程度、期間、そして違反に対する改善状況等を勘案して、ある程度客観的に、法令違反の観点と第三者機関である環境審議会の双方からの観点で判断する。

問3 法令等で定める規制基準に適合しないことが要件とあるが、考えられる規制基準は何が適用されるのか。

答3 どういったものが適用されるのか、基本的に法令等は条文上、限定されていない。

問4 環境保全条例の中には、第16条の4に「除去の代行」という項目があり、一つの条例に「除去の代行」と「代執行」という趣旨が同じ様な内容が二つ入ることは条例として問題はないのか。

答4 同じ条例の中であってもその対象物等が違うので、条文として本件条例第16条の4があることで、今回の改正条文が無効、無意味ということにはならないと考えている。

問5 環境審議会の現状と役割について、委員はどのように考えているのか。

委員には理解頂いているが、「なかなか踏み込んだ条例だ」という意見や「委員個人の意見は公表になるのか」という思いもあるので、十分に行政側から正確な資料の提出をしなければいけないと考えている。

議会構成 (令和3年10月1日現在)



長月会議において、議員の辞職によって欠員となった委員会があり、委員数を平等にするため、常任委員の所属変更が行われました。本市議会の議員定数18人のうち3人が欠員です。

議長 森本 富夫 副議長 小島 政行 監査委員 河南 克典

常任委員会

委員会名	総務文教常任委員会	民生福祉常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	渡辺 拓道	向井 千尋	栗山 泰三
副委員長	大上 和則	上田 英樹	大西 基雄
委員	原田 豊彦	前田 えり子	足立 義則
委員	隅田 雅春	河南 克典	園田 依子
委員	安井 博幸	小島 政行	森本 富夫

議会運営委員会

委員長	足立 義則	副委員長	園田 依子	委員	栗山 泰三
委員	大上 和則	委員	小島 政行		

議会広報特別委員会

委員長	安井 博幸	副委員長	原田 豊彦	委員	前田 えり子
委員	上田 英樹	委員	大西 基雄	委員	栗山 泰三

会派名簿 ※◎は会派の代表者

せいらいかい
青監会

(荀子故事“出藍の誉れ”より、先輩は後輩を育て、後輩は先輩を超えることを目指す政策集団)

◎足立 義則 原田 豊彦 上田 英樹 栗山 泰三 河南 克典 大上 和則
小島 政行

こうめいとう
公明党

(教育・福祉・平和を目指す会派)

◎園田 依子 隅田 雅春

会派無所属議員

前田えり子 安井 博幸 向井 千尋 大西 基雄 渡辺 拓道 森本 富夫

※申し合わせにより、議長は会派に所属していません。



上田 英樹

1. 「捨てればごみ」、「利用すれば資源」の生ごみ活用
2. 桑原地区の公害問題解決に向けて

QRコード



問1 生ごみは自然由来のもので、堆肥化により土に返すことができることも、家庭で完結できる唯一の資源ごみである。

生ごみの堆肥化促進のため、「生ごみだつて資源ごみ」、「生ごみ処理機で堆肥をつくり、きれいなお花やおいしい野菜を栽培してみませんか」などの普及啓発を推進するとともに生ごみ処理機購入費の一部助成をすべきでは。

生ごみの減量化は、清掃センターの長寿命化対策からも大切な課題となっている。

市民への生ごみの減量化促進には、「生ごみも資源ごみ」という意識の啓発が必要であり、啓発のきっかけとして生ごみ処理機購入費の一部助成制度の導入を事業所への助成も含めて検討する。

問2 桑原地区の鶏舎問題については、県知事による令和4年12月11日を期限とした農地への原状回復勧告や、施設の撤去命令を含む市環境保全条例の一部改正が本会議に上程されているが、いまだ具体的な鶏舎撤去等の動き

が見えない。

今後市として、具体的にどのような監督、指示等を行い、事態の進展に向けてどのように取り組むのか。

県の勧告では、期限までに鶏の飼養等農地以外の利用等を中止し、農地として現状回復すること。現状回復までの間は、臭気やふん尿処理等に伴う周辺環境への支障を生じないよう努めること。現状回復が困難と判断した場合は、命令を行う場合があるとも勧告されている。

市環境保全条例一部改正は、行政代執行も視野に入れ、施設の撤去ができる改善命令を追加している。

事業者が県の勧告を守るように期待するが、守らない場合は、市として対応できるように手続きを進めていく。



堆肥が作れる生ごみ処理機(バイオ式)



原田 豊彦

1. 兵庫県有形文化財『住之江の庭』を地域振興の核施設に
2. 篠山東雲高校を社会人が農業を学ぶ拠点に

QRコード



問1 住吉神社の庭園『住之江の庭』「西京街道拠点形成事業」で3年かけて整備された。現状では目隠ししたままの状態で放置されているが、一般に開放するなど、地域振興の核施設として活用できないものか。

令和4年の重伝建選定10周年や令和5年に予定されている「全国伝統的建造物群保存地区協議会丹波篠山市大会」と関連させて「住之江の庭」を活用できればと考えている。市の支援メニューも活用しながら、地域の参画と協働により方策を考えるので、地元との協力も切に願いたい。

問2 「耕作放棄地」など、地域課題の解決策として、または篠山東雲高校と住民との距離を縮めるためにも、例えば「スマート農業の学びの場」として、社会人が農業実習を受けられるように開放できないものか。県内各地から就学しやすいするため「寮」や「下宿」は手だてできないものか。

篠山東雲高校の基本理念は「知(曉)ちぎょう(を)培い 郷土を慈しみ 地域繁栄を志す」として、地域と結びついた

活動を進めている。ただ、近年は定員を下回る状態が続いており、今後どのようにして定員を確保していくのが課題だ。

これまでも様々な提案がされてきたが、具体的な検討が出来ていない。本校が存続できるよう応援していきたく、篠山東雲高校振興会や保護者の皆様とも十分に連携しながら「検討会」を設置し、高校の活性化に向けた具体的な方策を検討していきたい。



重森三玲の自信作 福住の「住之江の庭」



隅田 雅春

1. SDGsの目標を明確に
2. 農業の脱炭素化を
3. 子育て支援・若年者支援のさらなる充実を

問1 ロゴマークなどを貼り、各部署で取り組む課題を明確にすべきでは。

庁舎内の各課窓口でロゴマークを掲出し、各課で取り組む事業のPRにあわせて、市広報紙やチラシなどの啓発資材に該当するロゴマークを明示する。

専門家も含めたSDGs推進会議を設置し、更なる取り組みを進めては。

推進会議及び専門家の参画については、総合計画の進捗結果により、設置などを検討する。

市内小学校園での取り組み内容は。

各教科の授業を通してSDGsの学びを進めている。

「ふるさと教育」がまさに「持続可能な社会づくり」であり、地域の祭りや農業体験などを経て、郷土を愛し誇りに思う人材育成を図っていく。

問2 積極的に農業の脱炭素化に取り組むべきでは。

化学肥料、農薬の使用を県の慣行基準の2分の1以下にして生き物に配慮した米づくり「農都のめぐみ米」の取り組みを進めている。

QRコード



灰小屋

できる限り除草剤に頼らない雑草管理を行っていくとともに、灰小屋の普及には課題もあるため、周辺地域の皆さんの了解を得て、灰小屋の保存と灰肥料の作成を図っていく。

問3 子育て支援・若年者支援のさらなる充実について

中学卒業後から18歳以下の生徒に対する入院医療費助成の実施を検討する。

第2子の保育料無償化についてコロナ禍における家庭状況を考慮しつつ、引き続き研究していく。



安井 博幸

1. 上水合理化で前山配水池の県水二本化を
2. 市貸し施設のオンライン予約を
3. 篠山メダカの住める環境整備を

問1 前山配水池は西新町浄水場と県水の二本立である。将来人口の減少に備え、県水一本化にすべきでは。

県水が受水出来ない事故が発生した場合、西新町浄水場区域から、味間、城南、八上そして日置地区へ給水を想定している。県水地域のバックアップとして、西新町浄水場の廃止は出来ない。

問2 インターネットで貸館予約が出来るようにしては。

市民の利便性の向上や自治体業務効率化の為、「オンライン予約システム」の導入に向けて検討を進める。

市施設の午前、午後、夜間の時間帯区分を、1時間単位で借りられるようにしては。

今後は市民のニーズを踏まえて、施設ごとに対応していく。ただし、丹波篠山総合スポーツセンターにおいては、競技会等の開催に利用することが多いため、今のところは現行の利用区分で運営していきたい。

問3 篠山川及び武庫川上流のB39遺伝子のメダカを「篠山メダカ」と名付

QRコード



け、保護すべきでは。

「篠山メダカ」と名付けることで、市民にその希少価値や地域の誇りを感じてもらい、メダカの保護を促すことが期待できる。しかし乱獲や密漁への配慮が必要となる。

「篠山メダカ」の生息に適した環境を増やす為にも、耕作放棄田のビオトープ化をしては。

平成25年度から「生物多様性活動促進補助金」のメニューに「休耕田ビオトープ」の設置を支援している。

今後、やむを得ず耕作できない農地の管理法のひとつとして提案していく。



西新町浄水場



小島 政行

参画と協働による持続可能な農村づくりについて

問 参画と協働による持続可能な農村づくりは、自治会長とまちづくり協議会の連携のもと、多くの住民参加で地域課題等をテーマとした話し合いの場が必要である。

その話し合いの場を市側から設けることと、ファシリテーター役を担当課や地域サポート職員等が担うことで、今後の地域課題等への共通認識から新たな施策に繋がるのでは。

まずは城北をモデル地区として、地域課題の解決に向けた話し合いの場を設けたい。その進行については、地域振興課を中心に関係職員が対応し、課題を共有しながら新たな施策へ繋がるよう努め、職員の更なるレベルアップにも期待している。

ワクワク農村未来プランに積極的な集落や、「ワクワク農村などよそ事で自身の集落では無理」と思っている無関心地区を取り上げ、関係人口や協力団体等を巻き込んだ結果、大変身していくモデル地区が必要では。

令和3、4年度にかけて市内10地区をモデル地域として選定し、大学准教

授や地域おこし協力隊員なども参加する支援チームで取り組みたい。選定にあたっては、取り組みに積極的な地域はもちろん、無関心な集落なども選んでいきたい。

多くの職員が持続可能な農村づくりに参画と協働すべきでは。

必要に応じて、関係部署や地域サポート職員等が参画して、持続可能な農村づくりに職員として集落の活性化のために貢献していきたい。

QRコード



向井 千尋

医療的ケア児への教育支援体制を整えるために

問 9月18日から「医療的ケア児支援法」が施行された。この法制化に伴い、市町村と教育委員会は、医療的ケア児への教育体制等を整備することが責務となった。現在、本市においても医療的ケア児とその家族を中心とした教育体制支援を早急に進めていくことが必要である。

医療的ケア支援法にある本市の責務や基本的理念についてどのように考えるか。

本市においては篠山養護学校において、看護師等が教職員と連携して医療的ケアを行っている。今後も適切な教育に係る支援を行うため、安全面に配慮しながら、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を行う。

本市における医療的ケア児への教育支援体制の現状と課題、看護師の支援体制についてどうか。

医療的ケアの実施は医療の専門的知識が不可欠であり、主治医の指示書に従っている。また、篠山養護学校の看護師は常時3人を配置することとしているが、今後も安定的に配置して

いくことは難しい状況である。

自立支援協議会にある「医療的ケア部会」障がい者相談支援センターでの医療的ケア児への取組みはどうか。

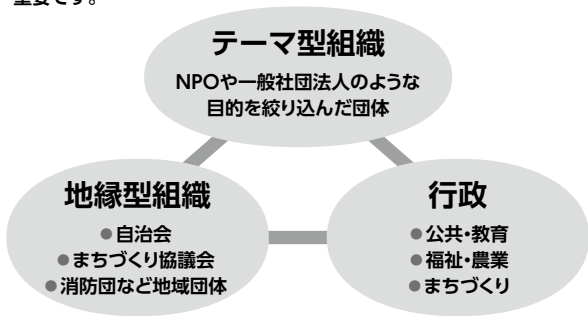
医療的ケア部会は小児科医師、障がい福祉事業所、訪問看護事業所、養護学校、教育委員会等の関係機関に属する17人の委員で構成しており、それぞれの視点から情報共有し、一人ひとりの支援のあり方について協議している。また、令和3年4月に開設した「障がい者相談支援センター」は、今後、医療的ケア等に関するコーディネーターとの連携を深め、医療的ケア児への支援に取り組んでいく。

QRコード



参画と協働による持続可能な農村づくりのために

地域の自治会やまちづくり協議会の地縁型組織と、多様な活動を展開するテーマ型の団体と行政も連携しあって地域づくりを進めることが重要です。





園田 依子

1. 障害者手帳の交付申請支援について
2. コミュニケーション支援について

QRコード



問1 障害者手帳交付申請に、指定医師による診断書作成にかかる費用負担が重くのしかかっている。障がい者サービスを受けるための入り口の段階で、経済的な負担が感じられる。障害者手帳交付申請の診断書作成料金について、負担軽減措置を。

障がい者手帳の申請で診断書の提出が必要となる手帳は、身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳がある。

新規申請や状態が変わり等級の見直しが必要な場合、精神障害者保健福祉手帳は2年に1度の更新申請に診断書の提出が必要になる。医療機関により診断書作成料は異なり、5,500円から15,000円前後になる。

本市では障がいのある方への経済的負担軽減施策はあるが、新たに診断書作成料の助成制度の導入を検討する。

問2 コロナ禍における行政サービス向上と、軽度難聴者のコミュニケーション支援として話す側から「きこえ」の支援ができ、難聴の高齢者の窓口でのやりとりを円滑にする「卓上型対話支援機器」導入の検討を。



市役所に設置しているコミュニケーションボード

本市では講演会等において手話通訳者、要約筆記者を配置し、市役所窓口にはコミュニケーションボード等を備えている。今年度からは遠隔手話通訳サービスの導入などに取り組んでいる。今後は「卓上型対話支援機器」だけでなく「集音器」などの設置を検討する。



大上 和則

こどもの教育環境について

QRコード



問 近年、記録的な大雨が各地に発生し、土砂災害や河川の氾濫、浸水害など甚大な被害が相次いで発生している。

今田幼稚園・今田保育園の両施設は、土砂災害警戒区域に属し、どちらも50年近い建造物で老朽化が進んでいる。

将来的な子どもの人口推移等を考慮した場合、安全なエリアで安心して保育・教育を受けられる環境整備に向け、幼保一体化を前提とした認定こども園への移行が望ましい。早急に協議・検討を行っていくべきでは。

ソフト面での対策を行う一方、両園とも老朽化が進んでいるためハード面の検討も必要である。より安全なエリアで認定こども園化することも含め、安全・安心な保育環境の確保に向け、早急に検討する。

今田地区以外での土砂災害警戒区域内にある公立学校園施設に対する対応は。

情報伝達や避難体制整備等のソフト対策を行いつつ、校舎・園舎の老朽化や子どもの人口推移を見定めながら、



土砂災害特別警戒区域に隣接している今田幼稚園

安全を第一に考え、検討していく。文部科学省からは、小規模校存続と活性化の工夫の一つとして、小中一貫教育が例示されており、地域の特性や小規模の利点を活かした学校づくりは必要と考えられている。本市における小中連携の取り組みを活かしながら導入について、調査研究を始めていく体制が必要では。これまでの小中連携事業をより進めるとともに、すでに小中一貫教育を導入している他市等の情報を参考に、本市にとって最適な体制について調査研究を進めていく。



栗山 泰三

1. 古民家再生促進支援事業について
2. 規制緩和等により丹波篠山市のさらなる発展を

QRコード



問1 この事業の申請者の要件は、自治会又はまちづくり協議会及び市民活動団体となっている。

その要件を拡大すれば、古民家の再生や空き家の活用も促進されると考えるが、本年度は予算計上されていない。ニーズを把握したうえで令和4年度予算計上すべきでは。

要件には、該当する古民家を地域の交流拠点にすることなど、一定の公共性が求められており、本市が一度住宅を借り上げるなど、工夫をして空き家の活用を進めてきた。今年度は申請の見込みが無かったが、申請が出てくるのであれば、予算計上していく。

問2 三田市では、新三田駅前土地区画整理事業に対し、地元から開発を望む声が多く、関西学院大学生ら乗降客からも声が上がった。

これにより、三田市議会一般質問で、「土地利用に規制緩和を」に対し、担当部長は「実情に応じた土地利用の促進が必要」と答弁された。

令和元年9月、味間地区自治会長と会長と味間地区まちづくり協議会会長



篠山口駅東側付近

の連名で、篠山口駅周辺に限り、建築物の高さや面積の許可基準等について規制の緩和を要望されている。本市においても規制緩和について検討する必要があるのでは。

駅東側の、都市計画画道路のトンネル化を積極的に取り組むべきでは。

建築物の高さについては、篠山口駅周辺に限り、都市機能の活性化が必要だと考えるため、地域の皆様の意見を聞きながら検討を進めたい。

また、トンネル化については、県や県議会議員に引き続き要望していく。



前田 えり子

1. デジタル改革関連法について
2. 補聴器の購入に公的補助を

QRコード



問1 デジタル改革関連法には、個人情報保護や自分の情報をコントロールする仕組みがない。地方税や福祉など17業務のシステムは、国の定める標準化基準に適合するものにならなければならず、自治体独自のサービスが抑制される危険性もある。

また、自治体の窓口業務は、セーフティネットの役割を担っているが、デジタル化には職員削減、無人化も視野に入っている。

個人情報の適正な取り扱いや住民サービスを低下させない取り組みを。

個人情報の保護に関しては、今後慎重に検討していきたい。国のガイドライン等を参照しながら、必要な整備を検討したい。独自のシステムを構築することは妨げておらず、独自のサービスの低下につながることはないと考え

る。機械を活用して簡素化・省力化することにより、人ではできない業務に注力することができ、市民サービスがより充実すると考える。

問2 加齢性難聴は、現段階では治療

する方法がない。聞こえの悪さに気づいたらなるべく早く補聴器をつけることが望ましいが、高額な補聴器購入にかかる公的補助を。

後期高齢者が増えていき、加齢性難聴者も増えていく。補聴器の使用と認知症予防に関する国の研究を参考にしながら、今後も継続して検討を行う。費用についても、補助対象者が多くあった場合、予算も高額になってくることから、検討を行う。



窓口で貸与している補聴器



渡辺 拓道

1. 道路交通安全施設の維持管理と整備について
2. 新型コロナウイルス対策の現状と課題について

QRコード



問1 道路のいわゆる白線(中央線や外側線)管理について複数の市民から指摘を受けている。計画的な引き直しによる維持管理が必要ではないか。

引き直しは(材料を加熱溶融し塗布する)溶融式を採用している。引き直しの単価は、700~900円/m程度であり、これまで年間約180万円の予算を組んで実施してきている。

点検をした結果、一層の安全対策を実施すべきと考え、今年度と来年度の2か年で集中的に中央線の引き直しを行う予定としている。

問2 新型コロナウイルスの市内感染者の状況、自宅療養者の状況は。

9月15日時点の本市の感染者数は192人で報道のとおりであり、現時点では、概ね2日程度で丹波地域の医療機関に入院できている。

重症・中等症Ⅱ以上の方は丹波医療センターに、軽症・中等症Ⅰの方はささやま医療センターに入院されている。

9月中旬からは岡本病院でもベットを確保いただけることとなり、丹波地

域は県下でも、モデル的な受け入れ態勢である。

ワクチンの接種状況と今後の見込みは。

ワクチンの供給に課題はあるが、接種については市内の医療機関の協力により順調に進んでいる。10月9日までは、接種対象者の約75%が接種完了の見込みであり、若年層に対しては職域接種も進んでいる。

また、10月1日から1,800人分の予約を再開する。副反応については、4人にアナフィラキシー症状が確認されたが、救急対応によりすぐに改善している。

新型コロナウイルス対策基金の積極活用を。

基金については積極活用を検討している。



丹波篠山市・丹波市議会合同研修会を開催！ オンラインで本会議を



講師の高沖先生

令和3年8月19日、丹波篠山市民センターで、丹波市議会との合同研修会を開催した。

講師には三重県を中心に活躍されている、自治体議会研究所の高沖秀宜(ひのぶ)代表を招き「コロナ禍における議会運営と議会力の向上」と題してご講義をいただいた。

議員力・議会力とは

「議員力」とは、市民の立場から様々な問題点や課題を捉え、それを解決するための能力であり、「議会力」とは、二元代表制の一躍を担う議会として、市民の負託と信頼に応えていくための機能。

議会力の向上のためには、議会の審議能力と議員力の向上が不可欠。

丹波篠山市議会が導入している「通年制議会」については、議員や事務局の負担が増大する懸念もあるが、監視機能を強化する意味では効果があると、高い評価をいただいた。

政務活動費は返すな

コロナ禍の影響を受けて、「両議会とも政務活動費の返還が増えている。調査研究費として、制限された状況でも、市政向上に向けて調査活動することが重要との持論を展開された。

本論の「コロナ禍における議会運営」については、議会のBCP対策を真剣に考え、オンラインで本会議を開催できる環境を整えておく必要性を提案された。

天を仰ぎ地を歩む

歴史の風雪に耐える仕事を！

身の引き締まる言葉で締めくくられた。

用語解説

議会BCPとは・・・災害などの緊急事態が発生した場合でも、議会の機能を停止することなく、適切に進めるために備えておく計画のこと。

陳情・請願受付状況及び結果について（令和3年8月1日～8月31日受付分）

【陳情】

■令和4年度予算にかかる要望

特定非営利活動法人兵庫県腎友会会長

上記の陳情については、市当局に対し、適切に対応されるよう申入れを行いました。

■教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要望について

兵教組多紀職員組合執行委員長

上記の陳情については、総務文教常任委員会において審査され、全員賛成で採択となりました。意見書は、内閣総理大臣等へ送付します。

【請願】

■丹波篠山市議会政治倫理条例の制定等を求める請願

桑原自治会長

桑原環境を考える会代表

この請願は、次の2項目から構成されています。

1. 議員の責務や議員が遵守すべき行動基準、疑義がある場合の審査委員会による審査手続き等を定めた「丹波篠山市議会政治倫理条例」の制定。
2. 渡辺拓道議員が作成された調査報告書の撤回等の勧告決議。

それぞれの項目について、紹介議員から説明を受け、議会運営委員会で審査されました。

その後、9月30日本会議場で質疑、賛成・反対討論の後、採決が行われ、2項目すべてについて賛成多数で採択となりました。



■渡辺議員に調査報告書の撤回を求める決議（発議1号）

請願事項2の可決を受け、渡辺拓道議員が作成した、本来の目的以外で使用されている報告書を取り下げ、市民へのお詫びを求めるものです。

質疑・討論は無く、賛成多数で可決されました。

■吉田議員が辞職

9月28日付けで、吉田知代議員から、一身上の都合により議員辞職したい旨の願い出がありました。9月30日の本会議で、辞職を許可する事が決まりました。

これにより、定数18人の市議会は、欠員3人となりました。1年半後の市長選挙において、議員の補欠選挙が行われることとなります。

また、辞職に伴い、市議会の委員会構成が、別表のように一部変更となりました。

～賛否の分かれた議案等の公開～

議案等	議席番号 議員名	1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	13	15	16	17	18
		原田 豊彦	前田 えり子	上田 英樹	隅田 雅春	安井 博幸	足立 義則	向井 千尋	園田 依子	大西 基雄	栗山 泰三	渡辺 拓道	河南 克典	大上 和則	小島 政行	森本 富夫
議案 49	丹波篠山市環境保全条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
請願 第1	請願事項2 渡辺議員に対する調査報告書の撤回等の勧告決議を求める請願	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
	追加日程第1として直ちに議題とすること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
発議 第1	渡辺拓道議員に「調査報告書」の撤回を求める決議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-

※○は賛成、×は反対。 ※森本議員は議長のため、表決には加わっていない。 ※5番、12番、14番は欠員。
 ※請願事項2と発議第1号は、渡辺議員に対する内容なので、本人は採決に加わっていない。

■議案第49号

【反対討論】

- ・本条例は令和元年から毎年条例改正されており、いずれも指定家畜飼養施設を設置する畜産業の規制強化につながるものである。一案件の解決に資するためとする理由は一定理解するものの、一部業種のみを規制を強化することは、著しく条例のバランスを欠き、畜産業への偏見を生みかねない。

【賛成討論】

- ・条例は、その時々での社会の状況にふさわしいものとなっているのかを検証し、改正すべきところは改正することが重要である。今回の条例改正は、氏名を公表しても改善に取り組まれない事業者に対して、実効性が必用であるとともに市全体の生活環境を守るためである。
 市民と畜産関係者に対する説明会やパブリックコメントも実施され、反対意見は無かったとの報告もあり、本条例改正の手続きについても問題はないと考えている。

■日程第17号 請願事項2

【反対討論】

- ・審査を行った議会運営委員会では、当事者である渡辺議員に事実関係などを事情聴取することもなく本会議に上程されたことは審査不十分であり、委員会に差し戻すべきだと考える。
 公害問題の抜本的な解決には、高坂養鶏場が桑原地区から移転するしかないと考え議員活動をされている渡辺市議に対して、このような勧告を行うことは理解し難い。

【賛成討論】

- ・議会運営委員会として丁寧に審査し、その中では事情聴取すべきとの発言は出なかった。
 渡辺市議は公開質問状の回答において、報告書が裁判所等に提出されていると認識していなかったと明言されており、渡辺市議の意図していないところで報告書が用いられていることについて、議会として対応を求められていると判断した。
- ・公害調停等での住民同士の紛争の一因となっており、報告書の意図や内容について丁寧に説明を行い、報告書によって問題が長期化していることについては、早期解決を望まれている市民に対し、お詫びが必要であると考え。

次回の会議は12月に開催します。

【通称：師走会議】

11月30日(火) 本会議(第1日)
議案提案 他

12月15日(水) 本会議(第2日)
一般質問 他

12月16日(木) 本会議(第3日)
一般質問 他

12月23日(木) 本会議(第4日)
委員長報告 他

(常任委員会・分科会)
○予算決算委員会分科会
補正予算審査
12月 1日(水)総務文教
12月 2日(木)民生福祉
12月 3日(金)産業建設
12月14日(火)全体会

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しく下さい。なお、市議会のホームページでも本会議中継を見ることができます。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※本会議・委員会の傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※議会だよりに対するご意見やご感想は、下記までお寄せください。
TEL (079) 552-6855
FAX (079) 552-7104
E-mail
gikai_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第97号

令和3年10月21日発行

編集・発行

丹波篠山市議会広報特別委員会
安井 博幸・原田 豊彦・前田えり子
上田 英樹・大西 基雄・栗山 泰三
〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41
TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会 検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

オンライン議会報告会

12月初旬にYouTubeにて 動画配信

長期間にわたる緊急事態宣言が解除されましたが、十分な安全は確保できていない状況です。

11月に予定していた議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回も動画配信により行うことにしました。

直接、皆様と対面しながらご意見をお伺いする大切な機会がなくなり、残念です。

動画は12月初旬頃にYouTubeで配信する予定で、丹波篠山市議会のホームページからもご覧いただけます。また、春のオンライン議会報告会(5月配信)についても、同じチャンネルに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

まちなみ

和歌山市の水道管橋の崩落事故は、水管の水漏れは点検されていたが、それを支える橋梁そのものの点検が行われていなかった。我が市も所有のドローンで水道管橋を空撮し、腐食しやすい溶接部などを重点的に点検すれば、コストも余り掛からないのではないか。(安井)

(株)丹波新聞の荻野社長をお招きし、広報委員会の研修会を開催しました。荻野社長は、本誌に対してばっさバツサと前向きな「批判」を連発。私達は納得の連続でした。「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを愉快地、愉快なことをまじめに書く」を心掛けます。(原田)

緊急事態宣言の解除で、多くの観光客が、秋の味覚を求めて丹波篠山を訪れています。新米、まつたけ、丹波栗、丹波黒枝豆・・・など丹波篠山・味覚の秋は、真っ盛りです。でも、コロナ禍での余剰米、米価の大暴落。喜んでばかりではられません。(前田)

今年の栗の収穫は例年よりも不作と聞きましたが、丹波栗を代表する大きな実もつけ、黒大豆栽培も日本農業遺産に認定され、魅力あふれる丹波篠山の秋となりました。長引くコロナ禍で困難に直面することもあります。ともにこの局面を乗り越えていきましょう。(上田)

10月と言えば丹波篠山市は味まつりで賑わう季節ではありますが、残念ながらコロナ禍の中で中止とはなりましたが、各地から黒枝豆や秋の味覚を求め多くの方にお越し頂いております。来年こそは味まつりの開催を！(大西)

山内町大規模火災により、被災されました方に対し、心よりお見舞い申し上げます。10月11日、補正予算が可決された。国交省の空き家再生等推進事業(除却タイプ)を適用。対象施設、跡地が地域活性化のために供されるもの。アスペストに対する対応はいかに。(栗山)

広告

あなたのいっそうの健康をサポート

病院の診断結果の詳しい解説や
医師との適切なコミュニケーション術、
肥満・便秘・ストレス・血圧・血糖値で悩んでいる方、
健康で元気に毎日を過ごしたい方へアドバイスします。

無料相談(30分)

臨床検査技師
加藤 晴之
丹波篠山市池上
277-32

Health & Fine ヘルス アンド ファイン
まずは気軽に
お電話で 080-4297-9291

広告



丹波篠山
まつかぜ屋

*完全ご予約制(2日前まで)
*隠れ家風古民家(掘りごたつ式)
*2組限定(昼・夜とも2組限定)
*昼11:30~14:00 夜17:30~21:00

【鍋物コース】【炭火焼バーベキューコース】
【名古屋コーチン一品料理】など。
こだわり飼育の名古屋コーチン、丹波篠山産の米・野菜・牛肉・猪肉・酒など使用。
水・木/定休日。駐車場(数台分)有り。

〒669-2201 兵庫県丹波篠山市東古佐95
電話 079(594)5454
携帯 090-3722-4755
https://tanbasasayama-matsukazeya.com